

土木工事 共通特記仕様書

目 次

第 1 編 共 通 編

第 1 章	総 則	1
第 1 節	総 則	1
1	— 1 — 1 適 用	1
1	— 1 — 2 主任技術者	1
1	— 1 — 3 監理技術者	4
1	— 1 — 4 現場代理人	5
1	— 1 — 5 配置技術者の適格性及び専任性等の確認	5
1	— 1 — 6 低入札価格調査調査対象工事における技術者の増員	5
1	— 1 — 7 舗装技術者の配置	6
1	— 1 — 8 鋼橋塗装技能士の配置	6
1	— 1 — 9 路面標示施工技能士の配置	7
1	— 1 — 10 腕章等の着用	7
1	— 1 — 11 建設副産物	7
1	— 1 — 12 リサイクル認定製品	8
1	— 1 — 13 過積載防止対策	9
1	— 1 — 14 提出書類の簡素化	9
1	— 1 — 15 ワンデーレスポンス	9
1	— 1 — 16 ウィークリースタンス	9
1	— 1 — 17 情報共有システム（A S P）	10
1	— 1 — 18 遠隔臨場	10
第 2 章	土 工	11
第 1 節	土工一般	11
2	— 1 — 1 土及び岩の分類	11
2	— 1 — 2 道路土工	11
第 3 章	無筋・鉄筋コンクリート	12
第 1 節	レディーミクストコンクリート	12
3	— 1 — 1 レディーミクストコンクリート	12
3	— 1 — 2 単位水量の測定	12
第 2 節	施工管理	12
3	— 2 — 1 一般事項	12

土木工事共通特記仕様書

3	—	2	—	2	建設材料の品質記録保存・・・・・・・・・・	12
3	—	2	—	3	コンクリートの耐久性向上・・・・・・・・・・	12
3	—	2	—	4	テストハンマーによる強度推定調査・・・・・・・・	12
3	—	2	—	5	ひび割れ発生状況調査・・・・・・・・・・	13
3	—	2	—	6	非破壊試験等によるコンクリートの品質管理・・・	13

第 2 編 材 料 編

第 1 章	土木工事材料	14
第 1 節	鋼 材	14
1	— 1 — 1	落石防護柵の亜鉛めっき・・・・・・・・・・ 14
第 2 節	セメントコンクリート製品	14
1	— 2 — 1	インターロッキングブロック・・・・・・・・・・ 14
1	— 2 — 2	コンクリート法留（プレキャスト製品）・・・・・・ 15
1	— 2 — 3	境界杭（鉋）・・・・・・・・・・ 16
第 3 節	瀝青材料	17
1	— 3 — 1	アスファルト注入材料・・・・・・・・・・ 17
1	— 3 — 2	アスファルト混合物・・・・・・・・・・ 17
第 4 節	塗 料	18
1	— 4 — 1	区 画 線・・・・・・・・・・ 18
第 5 節	そ の 他	19
1	— 5 — 1	河川護岸用吸い出し防止シート・・・・・・・・・・ 19
1	— 5 — 2	無収縮モルタル・・・・・・・・・・ 19
1	— 5 — 3	トンネル防水工・・・・・・・・・・ 20
1	— 5 — 4	雑石（沈石用）の確認・・・・・・・・・・ 20

第 3 編 土木工事共通編

第 1 章	総 則	21
第 1 節	総 則	21
1	— 1 — 1	出来形図及び出来形部分の数量・・・・・・・・・・ 21
1	— 1 — 2	土木工事施工管理基準・・・・・・・・・・ 21
1	— 1 — 3	施工管理・・・・・・・・・・ 21
1	— 1 — 4	提出書類の様式・・・・・・・・・・ 23
1	— 1 — 5	交通安全管理・・・・・・・・・・ 23

土木工事共通特記仕様書

1	—	1	—	6	交通誘導警備員・・・・・・・・・・	23
1	—	1	—	7	低入札価格調査精度による調査・・・・・・・・	24
1	—	1	—	8	品質証明（社内検査）制度・・・・・・・・	24
1	—	1	—	9	中間検査・・・・・・・・・・	24
第 2 章 一般施工						24
第 1 節 共通的工種						24
2	—	1	—	1	植生工・・・・・・・・・・	24
2	—	1	—	2	境界杭（鉋）工・・・・・・・・・・	25
2	—	1	—	3	ハット型鋼矢板・・・・・・・・・・	25
第 2 節 石・ブロック積（張）工						25
2	—	2	—	1	胴込めコンクリート・・・・・・・・・・	25
2	—	2	—	2	裏型枠の埋殺し・・・・・・・・・・	25
第 3 節 一般舗装工						25
2	—	3	—	1	粒 度・・・・・・・・・・	25
2	—	3	—	2	コンクリート舗装養生材・・・・・・・・	25
2	—	3	—	3	石 粉・・・・・・・・・・	25

第 6 編 河 川 編

第 1 章 総 則						27
第 1 節 仮量水標						27
1	—	1	—	1	水位の観測・・・・・・・・・・	27
第 2 節 護岸法覆工						27
1	—	2	—	1	法覆工及び法留工・・・・・・・・・・	27
1	—	2	—	2	連節ブロック張工・・・・・・・・・・	27
第 3 節 標 示 板						28
1	—	3	—	1	水門、樋門、樋管・・・・・・・・・・	28

第 7 編 河川海岸編

第 1 章 総 則						29
第 1 節 標 示 板						29
1	—	1	—	1	標 示 板・・・・・・・・・・	29

第 8 編 砂 防 編

土木工事共通特記仕様書

第 1 章	総 則	30
第 1 節	仮量水標	30
1 - 1 - 1	水位の観測	30
第 2 節	コンクリート堰堤工	30
1 - 2 - 1	モルタル	30
1 - 2 - 2	間 詰 工	30
1 - 2 - 3	水抜暗渠工	30
第 3 節	残存型枠	30
1 - 3 - 1	残存型枠（外壁兼用型）	30
第 4 節	急傾斜地	31
1 - 4 - 1	総 則	31
1 - 4 - 2	施工単位延長	31
1 - 4 - 3	仮設防護柵の設置及び撤去	31
1 - 4 - 4	切土斜面上部の仮排水工の設置	32
1 - 4 - 5	関係住民に対する情報連絡体制	32

第 10 編 道 路 編

第 1 章	舗 装	33
第 1 節	アスファルト舗装工	33
1 - 1 - 1	骨 材	33
1 - 1 - 2	マーシャル安定度基準値	33
1 - 1 - 3	配合設計	34
1 - 1 - 4	締固め度	35
第 2 節	ブロック舗装工	35
1 - 2 - 1	インターロッキングブロック舗装	35
第 3 節	道路付属施設工	35
1 - 3 - 1	視線誘導標	35
第 4 節	踏掛版工	35
1 - 4 - 1	施 工	35
第 5 節	排水性舗装工	35
1 - 5 - 1	材 料	35
1 - 5 - 2	排水性混合物の目標値	36
1 - 5 - 3	排水性混合物の管理項目	36

第 2 章	鋼橋上部	38
第 1 節	橋梁現場塗装工	38
2 — 1 — 1	材 料・・・・・・・・・・・・・・・・	38
2 — 1 — 2	橋梁塗装塗替・・・・・・・・・・	38
第 2 節	床 版 工	38
2 — 2 — 1	床 版 工・・・・・・・・・・	38
第 3 節	橋梁付属物工	38
2 — 3 — 1	伸縮装置工・・・・・・・・・・	38
2 — 3 — 2	架設用付属物・・・・・・・・・・	38
第 3 章	コンクリート橋上部	39
第 1 節	橋梁付属物工	39
3 — 1 — 1	伸縮装置工・・・・・・・・・・	39
3 — 1 — 2	P C 定着工法・・・・・・・・・・	39
第 4 章	トンネル	40
第 1 節	支 保 工	40
4 — 1 — 1	支保工間隔・・・・・・・・・・	40
4 — 1 — 2	ロックボルト・・・・・・・・・・	40
第 2 節	覆 工	40
4 — 2 — 1	覆工コンクリートの打設量・・・・・・・・	40
第 5 章	道路維持	41
第 1 節	セメントコンクリート舗装補修	41
5 — 1 — 1	再 注 入・・・・・・・・・・	41
第 2 節	アスファルト舗装補修	41
5 — 2 — 1	打 換 工・・・・・・・・・・	41
第 3 節	路肩及び法面	41
5 — 3 — 1	除草一般・・・・・・・・・・	41
第 4 節	清掃作業	41
5 — 4 — 1	清掃作業・・・・・・・・・・	41
第 5 節	災害応急処置	41
5 — 5 — 1	災害応急処置・・・・・・・・・・	42